

作成年月日 2023年2月13日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

下顎智歯抜歯手術における時間の影響因子についての臨床的研究

[研究の目的]

下顎第三大臼歯抜歯手術時間に影響する臨床的因子を明らかにすること

[研究の方法]

対象となる患者さん

2015年4月1日から2022年6月30日の間に、歯・顎・口腔外科にて下顎智歯抜歯を受けられた方。

利用する検体・診療情報

検体：なし

診療情報：抜歯時間に関連する因子として全身的因子・局所的因子・手術因子に分類した。全身的因子として身長、体重、体格指数(BMI)、喫煙、飲酒、高血圧、糖尿病、ビスフォスフォネート製剤、コルチコステロイド療法、経口避妊薬の使用、性別、年齢、術後収縮期・拡張期血圧とし、カルテを用いて調査した。局所的因子としては、左右、智歯の根数、根管治療の有無、智歯に関連した病変の有無(歯根のう胞および含歯性のう胞)、第二大臼歯の状態(齲蝕、根管充填、補綴治療、埋伏、歯肉の炎症の有無)、Winter分類、Class分類、術前下顎骨骨髓炎の有無についてパノラマX線、歯科用コーンビームCT(以下CBCT)を用いて調査した。手術因子としては左右同時抜歯、上下同時抜歯、止血剤の使用、術後下歯槽神経知覚障害の有無、専門医資格の有無とし、カルテを用いて調査した。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科 中川 健

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科 担当医師 中川 健